

スレイブ アスタ オビテマード

SLAVE ASUNA YUUKI ONLY FANBOOK 001 BOOK-1 CLOSE TO THE EDGE.



OVER 18 YEARS OLD ONLY
X
RATED

This book is only for NTR maniax!

001

SLAVE ASUNA YUUKI ONLY FANBOOK 001

フフ…おいたが
過ぎるねえ

逃げらるゝ
思ったかい?

ククク…
現実世界の君は
もっとおとなしいと
思ったが

こちりではだいた
活発のようだね

さすが閃光と
呼ばれただけの
ことよ

すてきな思い出を
汚されたくはないと…

あなたにその名を
呼ばれたくはないわ

これはこれで
手なすけがいが
…クク

フフ…
まあいいだろう

001: CLOSE TO THE EDGE



何度も言うようだが
君に無理強いは
しないよ

だからさっさと

君に今から与える
罰に対してだ

罰…でか…

そう…罰だよ

その罰に耐える
ことができたら

逆にほじびとじつ
彼に会わせて
あげてもいいくらいだ

寛容さじつが…
おごりな自信を

…じつは拒否権
なごないまじつ

好きにすればいいわ

理解が早くて
助かるよ

半日ほど…君の体に
訪れる変化に耐える
…それだけだよ

決して苦痛ではないが
軽い拷問のような
ものともいえるかな

これも僕の
研究の環でね

少し力を貸して
ほしいという訳さ

吐き気がするわね

褒め言葉として
受け取っておくよ



ああ…それと
彼に会わせると
いうのは本当だよ

君の彼への想いと
剣士の矜持とやらに
期待してるよ…クク





そうか…
こっぴいし事なのね

なのに感覚だけは
敏感になつていて
身じるぎつにも
反応してしまう…

毛皮が這い回るような
おぞましい感覚…

負けない…
負けられない

キリトくん…
私…負けないよ

意識にまで膜のような
フィルターがかかって
思考を鈍らせる





だめ...

だめ...だめ...
うしろ...うしろ...



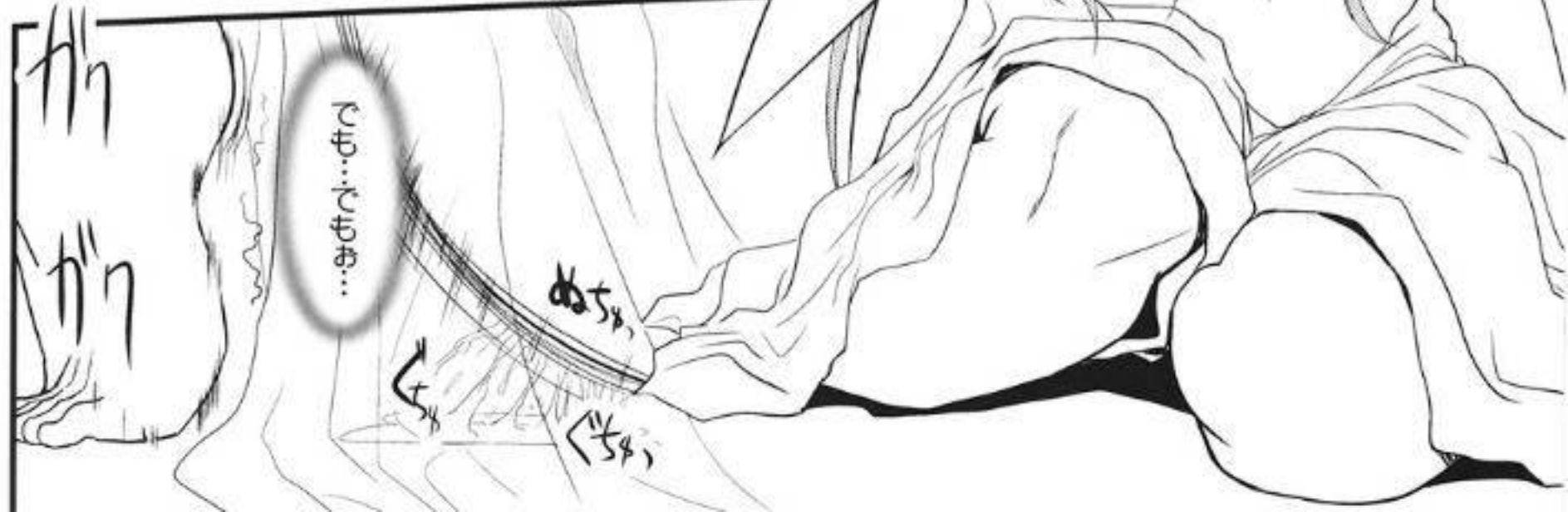
うしろ...

この...手で
いじりたい...



うしろ...うしろ...

外してしまえば
きこえぬ止めが...



うしろ...うしろ...



スッ スッ スッ スッ

その手の戒めを
解くのは簡単だよ

スッ スッ スッ

ただ
こう口にするば
いいだけだ



わ……わ……



スッ スッ スッ



君はあくまで
自分の意志でこの
先を決めるわけだ

わ……わ……

わ……わ……

私…
なま…

あ…あ…あ…

アイツが
あ…あ…あ…



キリッ…

キリッ…

あ…あ…あ…

あ…あ…あ…
なま…

あ…あ…あ…

舌…
あ…あ…あ…



それなのに...

だめなのっ

ぜんぜん
きもちよくなれないの
キリトくんのこと
いくらおもっても

かんがえてもおもいだしても
ぜんぜんかんじてくれないのっ

キリトくん...キリトくんっ
なんでっなんでっやまするのっ

もっときもちよくしてよ
あのと きみ たいに かんじ させてよ

あんなにきもちよくしてあげたのに
きもちいいこと...じゃまじないでっ

それだけじゃ
ないっ

あんな...

あんなやつが勝手に出てきて

よし

よし

よし



なんなのこれ…
うざなOJUN

あんな顔つ
思い出したくも
ないのこ



目にしたこともないはずの
その硬くそそり勁ったモノ

それを意識するだけで
指が…勝手に…



爬虫類のような目
醜く歪んだ口元

見るのもいやな
それらすべてが
性感に直結してる

あからさまな
イメージ操作だと
わかっているけど…
けど…

あからさまな
イメージ操作だと
わかっているけど…
けど…



すてこの自覚はありました



おはようございます
おはようございます……

おはよう
おはよう

おはようございます

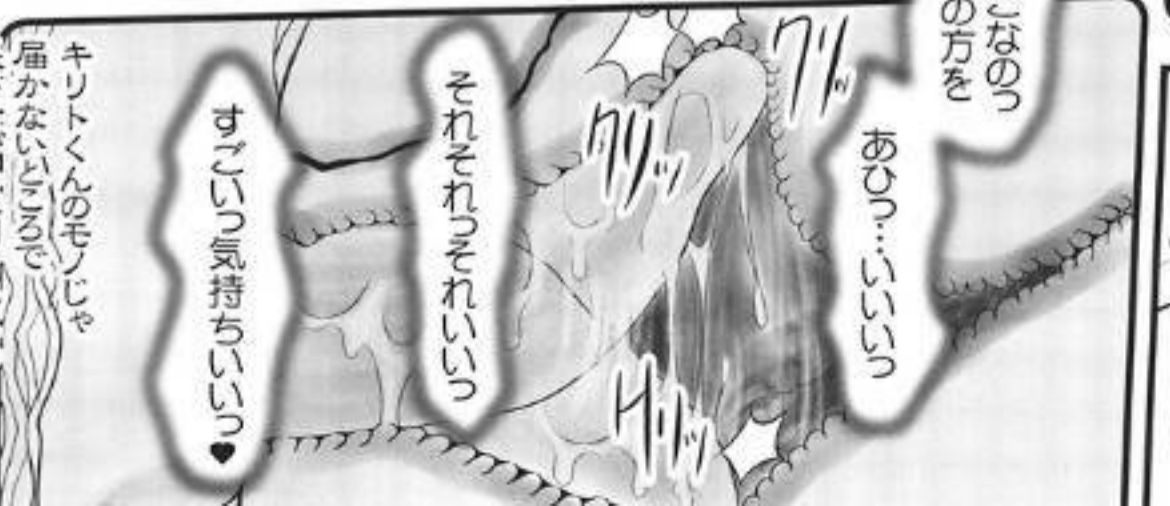


おはようございますの自覚はありました

おはよう
おはよう

おはようございます
おはようございます

おはよう……



おはようございますの自覚はありました

おはようございますの自覚はありました

キリトくんのモノじゃ
届かないよ、おはよう
長い舌が、おはよう



おはようございますの自覚はありました
おはようございますの自覚はありました



オベイロン
15500

オベイロン
15500

んれきイメージして
行為をイメージして
もっとなより直接的に

明確にイメージするほどに
行為とシンクロして



いっく
いっく
いっく
いっく

いっく
いっく

オベイロン…須郷に対する
嫌悪感が…彼をその対象に
するようになってから徐々に
薄れはじめていること…

この行為は受け合
昂り盛りつめてい



イカせてイキたいイキたい
イキたいイキタイのっ

イケないのっ
イケないのっ

もっ少しなのっ
キリッくんとする
イケないのっ

せっ少しなのっ
せっ少しなのっ
イカせてイカせてのっ



イ……う……？

うそ……なんで
なんでイケないのっ



アレ……欲しい……よ

あわ……な……



「……は
「……のスイッチ
ホンモノは……も……と奥



……ち……
……



ホントウのスイッチ
イカせてくれるスイッチ

どこかない……
指じゃ……ダメなの……

ス……
……

この奥……の指の
先に……

錯覚だとわかって……
彼としたい……彼に委ねたら
きつと気持ちがいい……
思考へと染ま……



オベイ…
なんて

なごう…



賭けは僕の勝ち
みたいだから
来てみたんだけどね

ささささささ

さささささ
さささささ

クク…いいんだよもう
とりつくろわなくなつて



アレが…欲しい…ですか



それに君が僕のことを
マンスリのオカズにまで
してくれるとは光栄だよ

ク…ククク…



いかにや

でもまだ
終わってないよね？

SAOにいた君なら
よく知っていると思うが

ここも同じなんだよ

ここALLOの
コアプログラムは
SAOのクロー

この意味は君が今
身を持って味わって
いることだろうがね

そう……やはり……

まあ君がここにいない
彼を想って何度したかは
知らないがね……ククク

私の中を絶望が覆った

クフ……
これは言いすぎた

私として例外ではなく
幾度となく自慰で
身体を鎮めたりもした

このALLOでも
食欲と同じく性欲も
満たされない限りは
決して収まることはない

ここからが本題だ

寛容な僕が君に
ラストチャンス
あげようと思っ
てね

そうではなく
僕は君を救済に
来たんだよ

ましてや……異常なほど
昂らされ、そして鎮める
術すら持たない今の私……





それが自ら僕の
チンポにむしゃぶり
ついてるんだからねえ

おっと…
ティターニア
だったか…

実に感激だねえ♪
あの閃光のアスナが



なるほど…
言葉よりも態度でこて
ことなのかい



こんなに激しく…

彼にも
したくないの…



ああ…
堅い熱いお尻…

それだけの匂い…
甜めてるだけで
疼きが強まる…

あふれるのが
止まらないっ

一度タガが外れたら
墜ちるのはあつという間



そんなに
言わせたいの…

ああ…君の口から
聞きたいねえ…
それも…下品にね

そっ…



でもねえ…
ティターニア

言わなきゃ
わからないよも
あるよねえ…

私に快楽を
与えてくれる人

ほしい…欲しいの
オベイロン…さまあ

あなたの口し…熱くて
硬くなったおちんぽで

私のスイッチを
入れてくれる人

既にこういった思考も
何もかもがおかしいと
わかってるはずなのに

私の…発情おまんこを…
かき回して…くたさい

お願い…私を
…イカせてくたさい

そっく…
たのしさをたのしさと
興奮しつゝおまんこ…

…も…も…も…
ステキな口上です

早く入れ…
早く入れ…

止められない…
いや止めたくない

いいですねえ
…そのかつら

あの凛々しい君が
淫らにケツを振って
はしたない姿を
晒している

ほらティーター
君は今何をして
いるんだい？

彼の与えてくれる
経験のない快樂が
私をおぼれさせる

そうだねえ…そんなに
僕のチンポが欲しいんだ？

むしろ快感を高める
魔法の言葉

は…いい…私は…あ
オベイロン…さまた
ハメ…いたたたきた

おちんぼろマ…ン汁を
塗りつけて…おねだりを
して…いますよ

はい…欲しいです…
おちんぼ…ハメた…

だったらあつ!!

ひやあつ ひやあつ
こまおなごうく

意味くらいは知っていた
下品な言い回しも

屈辱や抵抗感が
大きな快感に変化
すると気づいてからは

ちやうど
100%



それらを…何度も
何度も繰り返すうちに

おまじくちゅんちゅん
しまじゅ…だかじゅ…

ハメたいですっ…ちゅん
…ちゅんほっ…まんこで
くわえたいですっ



やがて…私は抵抗なく
より下品に…より淫らに
彼へと言葉に投げ
かけるようになっていた



もっともっと
物欲しそうに
ケツ振ってっ!

もっとマンコを
擦りつけてっ!

ハメたいんだろっ!
チンポくわえたいんだろ!

彼は私の言葉が
お気に入りらしく

んじを言うほどに
より快楽を与えてくれる

はっ…はっはっはっ

そう…それはまるで
パブプロフの犬のように



だがこのマン汁の量…
いい頃合いだねえ



クリクリクリクリ
とれちゅん

イクイクイク
クリだけで
イッちゅん

おお…潮吹いたか

クク…少し制限を
緩めてやったら
とたんにクリイキしたな

快楽にからめ取られ
彼のがじわじわと
心に染みこんでいく
染められていってしまう



ねと



どうしたんだい
ティーターア?

ぞく

あの……さっきから……
おまんこじゃなく……お尻……

私の気持ちはこの
表情がすべてだった

ん〜そうかい



ティーターア
頑張ったごほうびに
そろそろチンポを
めくんであげるよ

よく感謝しながら
自分でハメてみなさい

彼のこの言葉を
聞いた時

え…あの…その…



わずかな戸惑いと
恐怖…そして…

わかるかい



してもらえる事への
感謝とこれからする
行為への期待感



だってこっちの方が
もの欲しそうにほっかり
口を開けてるよ

いや〜体は正直だよ
どちらが本当に
欲していたのか…ね

やあ…きんなしまじは



ほら チンポを
あてがって

あ

吸盤のようにつく吸い付いて
奥へ飲み込もうとしてるよ

そんな…そんな事…
私…初めてのなの

初めて！
それはうれしいねえ

口では嫌がっていても
快感に飢えきった今は

じゃあ君のヤナル
処女は僕のものだ…

未知の快感への期待で
頭がはじけそうだった

だめえ…

ねっ!!

不意打ちだった

それは脳天から雷で
つらぬかれたかのような





まだあのクソガキに汚されていないこのケツ穴をねえ!

僕は最初からごちが狙いだっただよ

ククッ…クヒヒ

ごっ…ごっ…ごっ…

本当のスイッチはごちだっただよ

意識が…はじけ飛んだ



ごっ…ごっ…

ルルル

グッ

グッ



失禁までしたかはしたくないなあ

ククク…

でもごちごちごちごちこれからはしたくない姿を僕にたくさん見せるんだよね…ティーターア

これが…セックス…?

かわいいアへ顔晒してまったく聞かさないのが残念だよ

こんな快感が体の中にあった…なん…

はー

はー

はー

ヤッ



あーっ

あーっ
あーっ

あーっ

あーっ

あ

あーっ

あーっ

んまーっ
んまーっ

あーっ

まだイクっ

あーっ
あーっ

あーっ
あーっ

イクのうちはなごう

すこいすこいっ
ホントウのスイッチ
こんなところにあつたなんて

おまんこのウラ側
けずられるたびに
何回きっ...何回も
いんちすすいんち

クククククククククク
クククククククククク

ハハハハハハハハハハ

あしこ...
ケツの...ナナナ

ああ……しびれがひどい……

じゃあ、まず
言っただけじゃないかい？

あ……はい……

今からおちんぼを
自分でケツ穴に
くわえ込みます

肛門……肛門……
気持ちよがるの
よ……よ……よ……



彼に見せつけるように
自ずから恥ずかしい場所に
ペニスをくわえ込んでいく

肛門を割り広げられる
鮮烈な快感と

そのすべてを見られている
羞恥の入り混じる快感

私は結合部をさげ出し
犬のように腰を振り続けた

享受される
全ての快感を貪るために

あ……あ……あ……
あ……あ……あ……
あ……あ……あ……



イッた…もはや数え
きれない程の絶頂

射精…そして彼の
ペニスがかっと抜けた

幾度となくめくられた
場所がジンジンとしびれ
抜がったままの感覚…

そこへ…突然
彼の口が

物欲しそうにヒクついて
もはやただの快楽器官
となり果てたケツの穴



すいすいだされっ

おはっ

おはっ



精液...吸い出されるっ

ほじられっ

おはっ

彼の...舌っ
奥まで差し込まれて

なにっなにこれっ

おはっ



さあ...これは
キミのものだ

おはっ

おはっ

おはっ

おはっ

おはっ

おはっ



ふんふんふんふんふんふん

お尻が欲しがって
いくのが…わかるの

私は…せう



どうすればいいか…
わかるね？



彼のソレを見るだけで

精液…私のせうえき…



全身が激しく疼きはじめる





◆POSTSCRIPT◆

あるぴーぬでございます。今回は久しぶりのラノベオンリー本なSAOアスナ本でした。中身は現在放送中、でもアニメよりは1クール分は先行したフェアリーダンス編がお題でございます。したがって、アニメから入った方にはインクラッド編にはほとんど触れてないとはいえ、実質的にはネタバレになってるだろうという、原作4巻まで読んだ方前提の本となっております(∇∇)(アニメのみの方は、アニメ後半のフェアリーダンス編まで寝かせて…というのも手かと)

そして…Darkside名義ですので普段のうちの本とは真逆の黒くて昏い感じのネタと思うです。今回は自分にとって初めてのNTR(?)がテーマの本になります。

…で、実際やってみるとやっぱりというか、めちゃ難しいですね。それはいつも通りのイチャラブ系でなら、アスナとキリトがバーチャルでもリアルでもいちゃいちゃ…ってな感じの話になるのですが、そういったラブラブ系本は既に出されてる本にしるこれから出る本にしる、いろんなサークルさんが出されることと思いますので…。なら自分はちょっと方向の違った…いっそ未体験のNTRをやってみるのも面白そうかもと思った次第です。(実際は友人な某T氏のNTR描くぞ宣言もきっかけというかインスパイアにはなりましたが(笑))で、それならインクラッド編でクラディールorラフコフあたりか(キバオウとかも面白かったかも)今回のフェアリーダンス編の須郷のどっちかしかないなと思い、よりくズで下衆野郎(笑)な須郷を寝取り相手に指名した次第であります。

そんなわけで、描いてる本人自体が挿絵でのオベイロンのニヤケ顔にムカムカしながら描いてるくらいなので、相当読後感のよろしくない、読む方を選ぶ話にはなっていると思いますので、NTR本とは知らずに間違えて入手してしまわれた方にはごめんなさいm(_ _)m

…ただ、今回寝取られ対象のキリトくんがまるで出て来なかったのも、厳密な意味では「寝取られ」ではなく「寝取り」ものといった感じでしょうか。(その割にはアスナ視点だったりするんですが(爆))

それと、この話には一応続き…というか、後編があります。なるべく早い(放映中?)段階でそちらも発行したいとは思っていますが、現時点では秋サンク리가濃厚です。中身はまんま続編ですが、キリトくんも出てきますし、ある意味本当のNTRはここからなのかもしれません…ということで、アニメ版での展開(フェアリーダンス編)とリリースがほぼ同じタイミングになるだろう後編の方も、よろしければ読んでやってくだされば幸いです。

それではまた～。 20120812//あるぴーぬ。

◆オクツケ◆

スレイブ アスナ オンデマンド#001 // 2012.08.12 初版発行 // 発行 DIEPPE FACTORY Darkside // 印刷・POWER PRINT 18歳未満の入手・購読等一切の閲覧を禁ず。// WEB:http://www.dieppefactory.com/ mail:alpine@dieppefactory.com



スレイブ アスタ オニデマンド

001

For NTR Maniax!!



DIEPPE
FACTORY
DARKSIDE
2012
SUMMER